

北九州市
ほかんけん
保環研だより



《発行》北九州市保健環境研究所
所在地
北九州市戸畑区新池 1-2-1
ホームページ
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/ho-kenkyuu.html>



令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類に引き下げられ、原則、行動制限等がなくなりました。今号では外出する機会が増えてきた今、注目される2つの感染症についてお伝えします。

◆トピックス1：ウイルス部門◆
飼い主もペットも気を付けましょう
知っておきたい感染症「SFTS」



夏休みにキャンプや野山の散策など緑が豊かな場所でのレジャーを計画している方も多いと思いますが、出かける前に知っていただきたい感染症「SFTS」についてご紹介します。

【SFTS (重症熱性血小板減少症候群) とは?】

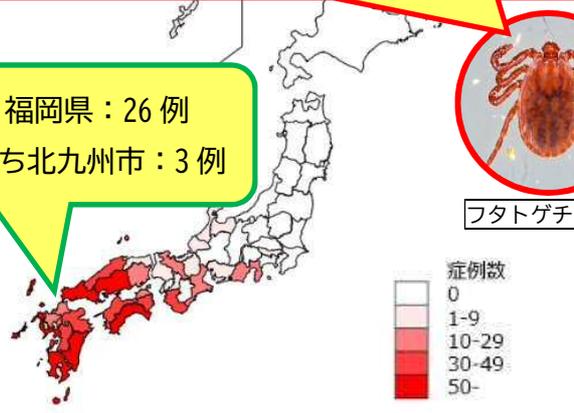
SFTS (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome) は、SFTS ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染するダニ媒介感染症で、国内では西日本で多くの患者が発生しています。

体長が吸血前：3~4mm、吸血後：1~2cmで、肉眼で確認することができます。

福岡県：26例
うち北九州市：3例



フタトゲチマダニ



感染症法に基づく SFTS 症例の届出地域
(2023.1.31 現在、国立感染症研究所 HP より)

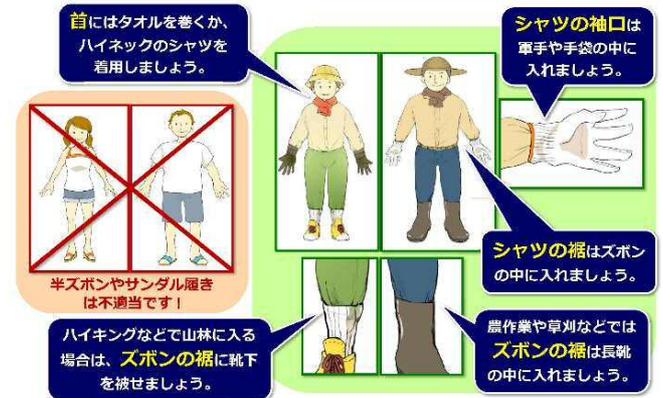
感染すると6日~2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)が多くの症例で認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害、皮下出血などを起こすこともあります。

【生息場所】

マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が出没する環境に多く生息していますが、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道など日ごろの生活圏にも生息しています。

【マダニから身を守るには】

野外でマダニ等に咬まれないようにすることが大切です。草むらややぶなど、マダニが多く生息する場所に入る場合には、肌の露出を少なくしましょう。



マダニから身を守る服装

(厚生労働省 HP「ダニ媒介感染症」より)

もしマダニに咬まれていることに気づいたら、無理に取り除こうとすると、マダニの体の一部が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で適切な処置を受けてください。

【マダニからペットに、ペットから飼い主に】

マダニは、ヒト以外の動物も吸血するため、散歩などにペットがマダニに咬まれて SFTS に感染することがあります。また、SFTS に感染した動物の血液等の体液に直接触れ、SFTS ウイルスに感染した事例も報告されています。



散歩後にペットにマダニがついていないかチェックすることで感染リスクを減らすことができます。また、ペットが体調不良の際は動物病院を受診しましょう。

◆トピックス2：ウイルス部門◆
海外旅行に行く前に知っておきたい
輸入感染症「麻しん (はしか)」

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染から約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

感染経路は、**空気感染、飛沫感染、接触感染があり、ヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強い**とされています。

一度感染し発症すると一生免疫が持続すると言われていますが、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。

そのため、ワクチンを2回接種したことがない方や過去に麻しんにかかったことがあるか明らかでない方は注意が必要です。

国内での麻しんの流行状況

日本は平成27年3月に世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局から麻しんの排除状態^{※1}にあることが認定されているため、現在は「海外で感染し、国内に持ち込まれた事例」と「海外で感染した人からの二次感染の事例」のみ確認されています。

※1 国内での発生(海外からの持ち込みを除く)が3年以上確認されていない状態。

表 麻しんの患者数 (単位：人)

年	H30	R元	R2	R3	R4	R5 ^{※2}
全国	279	744	10	6	6	18
本市	0	7	1	0	0	0

※2 R5は1月2日～6月18日の患者数

今年発生した国内での二次感染事例

今年のゴールデンウィークに麻しんウイルスが国内に持ち込まれ国内で感染が広がった事例がありました。

海外からの帰国者が、発熱・咳・湿疹の症状がある状態で新幹線を利用して帰宅した後に医療機関で診察を受けた結果、麻しんと診断されました。

後日、帰国者とは別グループの2名(海外渡航歴なし)に発熱・咳・湿疹の症状が出たため医療機関で診察を受けた結果、2名とも麻しんと診断されました。

保健所が調査した結果、この2名は帰国者と同じ新幹線の同じ車両に乗りしていたことが判明しました。



保環研の役割

国が定める「麻しんに関する特定感染症予防指針」では、全国の地方衛生研究所に対して、

- ・麻しん(疑い)患者のPCR検査
- ・陽性検体のゲノム解析

を行うことが求められており、北九州市保環研でも実施しています。

得られた検査結果は国立感染症研究所に提供し、流行状況の把握や感染拡大の防止等に役立てられています。

海外に渡航する予定がある方へ

【海外に行く前に】

☑麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう。

☑予防接種を受けたことがなく、麻しんにかかったことがない方は、**予防接種を検討**してください。

【帰国した後に】

☑帰国後**2週間程度は健康状態(特に、高い熱や全身の発疹、咳、鼻水、目の充血などの症状)に注意**しましょう。

編集後記

夏も本番、野外で過ごす時間も増え、虫刺されが気になる季節となりました。暑いけど虫刺されはもっと嫌…熱中症予防だけでなく、肌の露出や袖口にも気をつけて、草むしりに励もうと思っています。